

Injury Alert (傷害速報)類似事例

玩具入りボール状入浴剤による膣内異物 (No.94 カプセル型スポンジ玩具による膣内異物の類似事例 1)

事例	基本情報	年齢：6 歳 0 か月 性別：女児 体重：18kg 身長：115cm
	家族構成	父、母、本児、妹（4 歳）
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		膣内異物
医 療 費		入院 5,604 円 外来 26,712 円
原因対象	対象名称	玩具入りボール状入浴剤 (図 1)。中の玩具は 2cm×1cm×1cm 大。 (対象年齢 12 歳以上)
	入手経路 使用状況	受傷前日に玩具入りボール状入浴剤を 100 円ショップで購入した。同日入浴中に母と共に開封し、中に入っていた玩具で遊んでいた。その他にも浴室には、同様の大きさの玩具が他に 4 個、一回り大きい玩具が 2 個あり、計 7 個保管されていた。本児は日常的に入浴中におままごとをして遊んでいた。
発生状況	発生場所	自宅浴室
	周囲の人 周囲の環境	母と妹と本児の 3 人で入浴していたが、母のみ先に浴室から出て脱衣所にいた。本児は妹と共に浴槽内で遊んでいた。普段から本児は外陰部をいじる癖はないが、自分で広げて洗うように母が本児に日頃から指示をしているとのことであった。
	発生年月日	2022 年 10 月 X 日 (金) 午後 6 時 00 分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	上記時刻に母と妹と入浴していた。母が先に退室し、本児は妹と浴槽内で遊んでいた。この際、湯の深さは 30 cm 強であった。母は退室した 5 分後に浴室から出てくるように声をかけたが、遊びに夢中で出てこなかった。退室から約 10 分後に、突然本児が啼泣し、玩具が誤って膣内に入ったと母へ伝えた。本児いわく、「自分で外陰部をいじって同玩具の先端を入れてみたら、そのまま手が滑り入ってしまった」とのことであった。母がすぐに外陰部を確認するも異物は認めなかった。医療機関 A を受診し、体表からは異物を認めなかった。覚醒下で摘出を試みるも本児の拒否が強く困難であったため、医療機関 B へ紹介された。

医療機関受診時以降の治療経過 転帰	医療機関 B 受診時は全身状態良好であり、外陰部の疼痛や違和感の訴えはなく、出血や帯下は認めなかった。X 線写真で明らかな異物は認めず、3 日後（月曜日）の再診を指示した。再診時、超音波検査で膈内に 1.5cm×0.7cm 大の異物を認めた（図 2）。静脈麻酔薬投与により鎮静・鎮痛をし、産婦人科医によりクスコ膈鏡と長撮子を使用し、異物を摘出した（図 3）。処女膜の損傷は無く、膈内出血は認めなかった。同日、退院した。
キーワード	玩具入り入浴剤、膈内異物

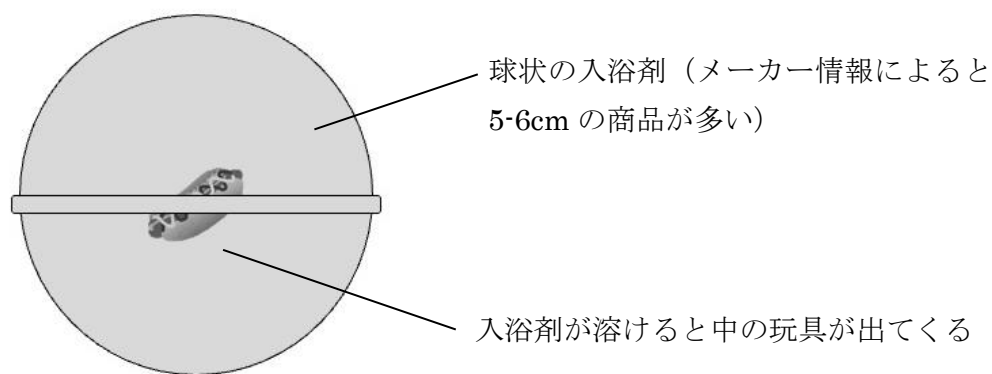


図 1：玩具入りボール状入浴剤：球状のバスボール（入浴剤）の中に小さい玩具が入っている



図 2：超音波画像 膈内に約 1.5cm×0.7cm の低吸収域があり、異物と考えられた

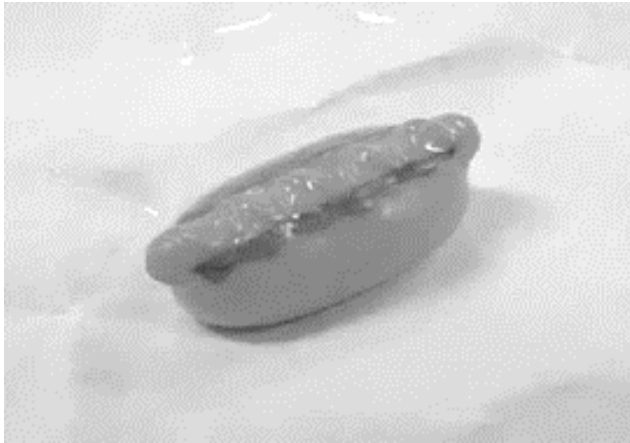


図 3 : 摘出された異物